

《担当者名》専任教員 / 秋元 奈美 / 岡橋 智恵 / 大山 静江 / 千葉 利代 / 山形 摩紗。

【概要】

歯科の二大疾患である齲蝕と歯周疾患の予防は、個人が毎日自主的に行うことにより効果が期待される。しかし、日常生活において絶えず自身の口腔に関心を抱いている者は限定されており、口腔の健康が全身に及ぼす影響についても重要視されていない現状にある。

歯科衛生士は、そのような個人・集団に対し、口腔の健康に対する意識を改善することにより生活行動を変容し、個人レベルで口腔および全身の健康管理が維持できるよう支援する。この科目では、時代のニーズに適応した保健指導・保健教育の基礎知識と技術を修得するために、様々な角度から学ぶ。

【学修目標】

以下の項目について理解する。

<前期>

- 歯科保健指導の意義ならびに健康定義の理念を理解できる。
- 口腔の正常像を説明できる。
- 歯垢染色剤の概要を知り、状況に応じた選択ができる。
- 口腔清掃の評価と各指標・指数を理解し、応用できる。
- 歯周疾患における各種診査法を理解し、応用できる。
- 口腔清掃の意義を理解できる。
- 歯ブラシの形態・名称について説明できる。
- 歯ブラシの所要条件および選択基準を説明できる。
- 各種ブラッシング法を実践できる。
- 各種補助的清掃用具の特性を理解し、使用方法を実践できる。
- 歯磨剤の概要を知り、口腔内に適した選択ができる。

<後期>

- 症例別の口腔清掃用具、口腔清掃法が選択できる。
- 専門職として正しく情報を収集する方法を学び、その実際の活用法を理解する。
- 歯科保健行動の概要を知り、ライフサイクルに適した行動を説明できる。
- 個人および小集団への歯科保健指導で使用する各種教育媒体の作成要領や活用法を理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	<p>オリエンテーション</p> <p>歯科保健指導総論(1)</p> <p>1. 歯科保健指導の定義</p> <p>2. 保健指導の法的位置づけと歯科衛生士の役割</p> <p>3. 歯科保健指導の内容</p> <p>4. 健康の概念</p>	<p>講義</p> <p>個人の生活習慣を望ましい方向に導くために必要不可欠な専門的知識および技術を習得する。</p> <p>学習援助型健康教育の特性と専門家の役割を学ぶ。</p> <p>保健指導と保健教育、周知活動、保健行動と生活習慣との関連を理解する。</p> <p>口腔の健康は人びとのQOL(生活の質)に寄与していることを認識できる。</p>	秋元 奈美
2	<p>歯科保健指導総論(2)</p> <p>1. 健康の概念</p> <p>摂食嚥下の仕組み</p>	<p>講義</p> <p>WHOの健康の定義を説明する。</p> <p>プライマリヘルスケアの理論を理解する。</p> <p>ヘルスプロモーションの理論を理解する。</p> <p>健康日本21(第2次)の理論を理解する。</p> <p>口腔の機能を理解する</p>	秋元 奈美
3	<p>歯口染色剤の種類と取り扱いについて</p>	<p>講義・実習</p> <p>歯垢染色剤について、それぞれの使用方法や注意点に</p>	秋元 奈美

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
4	1. 歯垢染色剤の分類 2. 歯垢染色剤の所要条件 3. 歯垢染色の方法	ついて理解する。 ブラッシング（刷掃）指導前後の評価や、対象者への動機づけ（視覚への訴え）としての各種歯垢染色剤の特徴と染色法を理解する。 錠剤染め出し法の実践、スケッチ	
5	前歯部綿棒塗布法	実習 綿棒塗布法の注意点を理解しながら、手順通りに染色、チャーティグを行う	秋元 奈美
6 7 8	ブランク・歯石の指数 1. PCR 2. OHI 3. OHI-S 4. PHP 5. PLI	講義・演習 歯の付着物・沈着物について説明できる。 歯口清掃状態を評価する各種指数について、ブランクスコアの診査部位、判定基準、算出方法、診査上の注意点を理解する。 OHI、OHI-S、PCR、PLI、PHPを説明できる。	秋元 奈美
9 10	歯周疾患の指数 1. PMA index 2. PI 3. GI 4. GBcount 5. CPI う蝕の指標	講義・演習 歯周疾患の炎症状態を評価する各種指数について説明できる。 PMAindex、PI、GI、CPI、GBcountを説明できる。 う蝕の指標について説明できる	秋元 奈美
11 14	歯ブラシの知識 1. 歯ブラシの使用目的、各部の総称、植毛状態、毛先の形態 2. 歯ブラシの特徴、規格、品質、管理 ブラッシング法の基礎知識および基本技術の習得 1. 顎模型、歯ブラシの持ち方 2. 毛先を使ったブラッシング法 3. 脇腹を使ったブラッシング法	講義・実習 口腔清掃の意義を説明できる。 口腔清掃法の種類を説明できる。 口腔清掃用具である各種歯ブラシの名称・形態・種類およびその特性を学ぶ。 歯ブラシの交換法・交換時期を理解する。 手用歯ブラシの特性とその使用目的を知り、対象者の口腔状態に応じた歯ブラシを選択できる。	秋元 奈美
15 16	口腔清掃による為害作用 ブラッシング指導（設定1・2）	実習 口腔清掃による為害作用を説明する。 設定内容に必要な指導内容を列挙する。 指導に必要な注意点を守り、対象者に分かりやすい指導を実践する。	秋元 奈美
17 18	歯磨剤検討 1. 歯磨剤 2. 洗口剤	講義・実習 市販歯磨剤の性質や特殊成分等を調査し、使用感等を知る。 歯磨剤の為害作用について学ぶ。 対象に推奨する歯磨剤を選択することができる。 洗口剤の種類と使用方法について学ぶ。 歯磨剤・洗口剤について、専門的な立場から助言することができる。	秋元 奈美
19 21	手用歯ブラシ以外の清掃用具 1. 電動歯ブラシ 2. 音波歯ブラシ 3. 超音波歯ブラシ 4. デンタルフロス 5. 歯間ブラシ 6. タフトブラシ 7. 歯間刺激子 8. ジェット水流洗口器	講義 各種特殊歯ブラシと各種補助的清掃用具の特性と使用目的を理解する。 症例に応じた補助的清掃用具の効果的な活用法を知る。 各種補助的清掃用具・電動歯ブラシ・音波および超音波歯ブラシ・ジェット水流洗口器を実際に使用することにより、各々の利点および欠点を体得する。 顎模型を使用し、各種補助的清掃用具の操作法と使用上の注意点を説明できる。	秋元 奈美
22 23	全顎綿球塗布法の実践	実習 全顎塗布法の練習（空綿球） 確認後、操作方法・注意点を守り、正しく塗布す	秋元 奈美

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		る。 塗布後、チャーティグを行い染色状況を読み取る。	
24 ) 25	考察・B r 指導	実習 22、23回の実習より、B r 指導に繋げる為の情報収集、及び指導の実践を行う	秋元 奈美
26	歯の位置異常、歯列の異常、咬合の異常	講義・演習 転位、傾斜、低位、高位、捻転、移転を理解する。 狭窄咬合、字型歯列弓、鞍状歯列弓、空隙歯列弓を理解する。 上顎前突、上下顎前突、下顎前突、上顎犬歯の低位唇側転位、叢生、切端咬合、正中離開、対象捻転を理解する。	秋元 奈美
27 ) 28	歯式、歯列、咬合、歯肉、特記事項の確認 自己磨きの確認	実習 次回の染色、ブラッシング指導実習に繋げる為に口腔内の情報収集を実践する。 手順を理解し、器具を正しく操作する。 対象者に声かけを実践する。	秋元 奈美
29 ) 30	全顎染色、チャーティグ 考察 ブラッシング指導	実習 27、28回の実習からの情報収集と今回の全顎染色を基にブラッシング指導実習を実践する。 歯の付着物・沈着物の状態についての診査・測定ができる。 染色された歯垢の数量化により、客観的に口腔清掃状態を評価し、判断できる。 歯科保健指導を行うにあたり、対象者や疾病を把握するために必要な情報を収集し、適切な技法で歯科保健指導を実施する。	秋元 奈美
31 ) 32	補助清掃用具の実践	実習 顎模型上で、補助清掃用具の指導の実践を行う	秋元 奈美
33 ) 34	ブラッシング指導実技試験	実技試験を行う。	秋元 奈美
35	エプロンシアターについて	講義・演習 集団保健指導計画を立案することができる。 集団指導法内容や実施方法（使用教育媒体の選択など）を計画することができる。	秋元 奈美
36 ) 40	生涯を通じた歯科保健指導 (ライフステージ別に応じた口腔保健管理) 1. 妊産婦期 2. 乳児期 3. 幼児期 4. 学齢期 5. 青年期 6. 成人期 7. 老年期	講義 口腔保健における歯科衛生士の役割を理解する。 ヘルスプロモーションの担い手として、生涯を通じた口腔保健とは何か理解する。 各ライフステージにおける望ましい歯科保健行動を知る。 各ライフステージの一般的な生活習慣の現状、歯の萌出状況、発達上の課題と問題点、歯科保健指導におけるポイントについて学ぶ。	秋元 奈美

#### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

定期試験・・・90%

提出物・・・5%

授業態度・・・5%

以上を総合的に判断する。

**【教科書】**

「最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論 / 歯科保健指導論」医歯薬出版  
「最新歯科衛生士教本 保健生態学」 医歯薬出版

**【参考書】**

「最新歯科衛生士教本 口腔保健管理」医歯薬出版  
「新歯科衛生士教本 歯科保健指導」医歯薬出版  
「最新歯科衛生士教本 高齢者歯科」医歯薬出版  
「改訂歯ブラシ事典」学建書院

**【学修の準備】**

予習（15分）：指定した教科書の授業内容に対応する項目を事前に読んでおくこと。  
復習（45分）：専門用語を覚え、記述できるようにすること。

**【実務経験】**

岡橋 智恵（歯科衛生士）  
大山 静江（歯科衛生士）  
千葉 利代（歯科衛生士）  
山形 摩紗（歯科衛生士）  
秋元 奈美（歯科衛生士）

**【実務経験を活かした教育内容】**

歯科衛生士としての実務経験を通じて得た知識・技術・態度などを活用し、実践的な教育を行う